

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【公開番号】特開2003-204367(P2003-204367A)

【公開日】平成15年7月18日(2003.7.18)

【出願番号】特願2002-358991(P2002-358991)

【国際特許分類】

H 04 L 29/06 (2006.01)

【F I】

H 04 L 13/00 305 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月28日(2005.12.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第2のノード(110)から第1のノード(110)へ情報を送信する方法であって、

前記第1のノード(110)と前記第2のノード(110)の間に通信リンク(130)を確立するステップと、

前記第1のノード(110)と前記第2のノード(110)の間で、前記通信リンク(130)を介した1以上のデータトランザクションの送信を可能にするステップと、

前記第2のノード(110)から前記第1のノード(110)へ送信されているデータトランザクションのデータストリーム(135)を識別するステップと、

前記トランザクションを停止させ、前記データストリーム(135)に情報を挿入することにより、前記データストリーム(135)によって前記情報を前記第2のノード(110)から前記第1のノード(110)へ送信するステップと

からなり、

前記第2のノード(110)から前記第1のノード(110)に対してデータトランザクションが開始された場合、前記情報は該データトランザクションの一部を構成しない、方法。

【請求項2】

前記第1のノード(110)及び前記第2のノード(110)を2つの異なる周波数で動作させるステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1のノード(110)にタスクを実行させるための命令を前記情報に含めるステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記情報を前記第1のノード(110)と前記第2のノード(110)との同期をとるために通常用いられるパケットに入れて送信するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記情報を前記第2のノード(110)から前記第1のノード(110)へ送信されているデータストリームの一部としてカウントされないパケットに入れて送信するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記第1のノード(110)および前記第2のノード(110)が、コンピュータシステム、ネットワーク装置、マイクロプロセッサおよび電子チップからなるグループの中から選択され

る、請求項 1 に記載 1 の方法。

**【請求項 7】**

前記トランザクションを停止させた時点での該トランザクションの状態を保存し、保存された前記状態に基いて前記トランザクションを再開させるステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 8】**

第 2 のノード(110)から第 1 のノード(110)へ情報を送信する方法であって、

前記第 1 のノード(110)と前記第 2 のノード(110)との間に通信リンク(130)を確立するステップと、

前記第 2 のノード(110)から前記データリンク(130)を介して第 1 のノード(110)へ送信されているデータトランザクションであってヘッダおよび複数のデータ片(135)を含むデータトランザクションを識別するステップと、

前記第 1 のノード(110)において前記データ片(135)をカウントし、前記ヘッダのデータに基いて前記トランザクションの終わりを識別するステップと、

前記データトランザクションを停止し、前記情報を含むパケットを前記第 1 のノード(110)へ向けて前記通信リンク(130)に送信するステップと、

前記第 1 のノード(130)において前記パケットが前記トランザクションの一部ではないものとしてカウントするステップと、

からなる方法。

**【請求項 9】**

前記第 1 のノード(110)及び前記第 2 のノード(110)を 2 つの異なる周波数で動作させるステップをさらに含む、請求項 8 に記載の方法。

**【請求項 10】**

前記第 1 のノード(110)にタスクを実行させるための命令を前記情報に含めるステップをさらに含む、請求項 8 に記載の方法。